

第 1 回地区懇談会（東金子地区）の概要	
日 時	平成 29 年 7 月 20 日（木）午後 7 時～午後 9 時
場 所	東金子公民館
出席委員	石井昭雄委員 金子勉委員 黒米恒夫委員 寺本和夫委員 寺本達委員 徳山好永委員 服部豪委員 古屋初子委員 星野ふみ子委員 吉野勝委員
欠席委員	なし
傍聴者	4 名
○委員意見 ・自然が豊かで、大きな災害に見舞われたことがない点は良い。 ・いずれの駅までも遠く、交通の便が悪い。 ・公共施設（豊岡地区にある広域対応施設）まで遠く、自動車が運転できない中学生や高齢者は、施設へ行くまでが一苦勞である。 ・自治会において、若い人達とは感覚の違いを感じる。高齢者は、みんなで集まって何かをするということが多いが、若い世代は個人を大切にしている。従って、つながりを持ちにくい。 ・東金子は、地域のネットワークが作りやすい場所だと感じている。一方では、コミュニケーションが取りづらい時代になってきていることも感じる。 ・住民どうしが公共施設の有効活用を話し合う機会があると良い。 ・地域に残る芸能文化は活発であり、今後も大切にしていきたい。 ・マンションに住んでいると、隣近所との関わりが少ない。顔が見えるつながりが大切だと感じる。 ・新久小学校は、災害避難場所であるが、霞川の北側の地区は、川を越えて非難しなければならない。 ・地区内に保育所があるが、短時間しか預かってもらえない。自然環境が良い土地であるが、こうした点が改善されると更に良い。 ・市民の多くは、公共施設のこと（どういう施設で、どんなイベントがあるのか等）を良く知らないと思う。 ・一面に茶畑が広がっているが、この茶畑を将来維持していけるか疑問である。お茶の収入だけでは生計が立たないのが現実である。 ・東金子公民館を整備する際は、駐車場を拡げて欲しい。また、用地がなければ、近くの公共施設と連携して、止められるようにすることも必要である。 ・地区体育館は、通常、暗幕を閉めているため、自然光が入らず昼間でも照明を点けている。卓球をする際に必要とのことだが、工夫すべきである。 ・青少年活動センターは、自然を活用したイベントが良い。アピールをすれば、利用者が増えると考える。	

- ・加治丘陵や霞川沿いなどを一連のウォーキングコースとして舗装し整備すれば、利用が増えるのではないかな。
- ・公民館内にある和室は使い勝手が悪いので、見直しが必要ではないかな。
- ・各地域にある公民館の格差が広がっているように感じている。

第 2 回地区懇談会（東金子地区）の概要	
日 時	平成 29 年 8 月 10 日（木）午後 7 時～午後 9 時
場 所	東金子公民館
出席委員	石井昭雄委員 石津壽喜 黒米恒夫委員 寺本和夫委員 寺本達委員 徳山好永委員 服部豪委員 古屋初子委員
欠席委員	金子勉委員 星野ふみ子委員 吉野勝委員
傍聴者	7 名
○委員意見 ・新久小学校は市街化調整区域に存在するが、この土地の活用は可能なのか。 →市街化調整区域は、宅地分譲などの開発、施設の転用（用途変更）に対し非常に厳しい規制がかかっている。また、埼玉県の計画でも、圏央地域は市街化区域の拡大を抑制している。 ・市街化調整区域については、市街化区域への編入を検討すべきではないか。 ・老人憩いの家は、一律で自治会へ移管されるのか。 →それぞれの施設で扱いは異なる。老人クラブや自治会の意向を確認するとともに、私有地の場合、土地所有者との関係にも配慮する必要がある。 ・統廃合により使わなくなった後の学校の活用について、考えておく必要がある。 →現段階で具体的な検討はしていないが、他の公共施設を移すことなどについて考える必要がある。 ・新久小学校と東金子小学校は距離がある。昔と今では交通量が違う（多い）ため、児童への配慮が必要である。 →他の地区でも意見があったが、通学については、スクールバスの検討も必要ではないかと考えている。 ・新久小学校には、金子地区から児童が通っているが、問題ないのか。 →通学区の問題は、各地区で存在するため、今後の検討課題である。なお、自治会についても同様の課題がある。 ・学校の統廃合は、施設の老朽化と合わせて検討する必要があるが、東金子地区の小学校は、事業計画（素案）で、比較的早い時期に実施される予定となっている。従って、向こう 5 年程度で具体的な検討をする必要があるのではないか。 ・地区センター化については、現在の施設を活用して本当にできるのか。 →地区センター化は、第 1 段階で既存施設の活用を検討し、第 2 段階では施設の建替えに合わせて整備を行う。第 1 段階では、全ての機能を備えることができない場合もあるが、第 2 段階では全ての機能を備えたい。第 1 段階で備えられる機能については、施設ごとに大きさを踏まえて、次年度以降検討することとしている。 ・公民館の稼働率が低い。一つの要因に施設機能の陳腐化が考えられる。地区センター化に向けて、機能の見直しが必要ではないか。	

・市は、学校の統廃合を教育環境の充実と説明しているが、実際は、財政が厳しいというのが公共施設マネジメントに取り組んだ根本の要因ではないのか。

→財政については、説明会で示した通り厳しい状況である。

・地域をベストの状態にするためには、実施内容と効果を合わせて示さないと全体像が見えにくい。

・市が考える教育環境としてベストな状態の学級数を示して欲しい。

→教育委員会に確認する。

・学校の跡地利用の可能性について、どのような活用が考えられるか示して欲しい。

→担当部局へ確認する。

・狭山市（入曽地区）の小学校は、廃止後、跡地が活用されていない。狭山の二の舞にならないよう留意いただきたい。

・あずま幼稚園の跡地活用が決まっていれば示して欲しい。

→教育委員会に確認する。

・児童数の減少は課題であるが、小学校同士の交流があれば、統廃合しなくても教育環境は悪化しないのではないか。

・地区体育館で、フットサルができる環境を整えてもらいたい。

・東金子スポーツ広場は、トイレが水洗化されていない。女性の利用もあるため、きれいにしたい。

第3回地区懇談会（東金子地区）の概要	
日 時	平成29年9月21日（木）午後7時～午後9時
場 所	東金子公民館
出席委員	石井昭雄委員 金子勉委員 黒米恒夫委員 寺本和夫委員 寺本達委員 徳山好永委員 服部豪委員 古屋初子委員 吉野勝委員
欠席委員	石津壽喜委員 星野ふみ子委員
傍聴者	1名
○委員意見 ・事務局案では、新久小学校は、統合し廃止ということか。 →東金子小学校は、築年数が古く、今後10年程度で築60年を迎え、今後、建替えを検討する必要がある。こうした建替えのタイミングも考慮している。一方、統合による課題もあると考えるので、地域の意見を聞きたい。 ・地区体育館の利用者は、大抵自家用車で来るが、周辺の道路が狭い。中学校の登下校と重なると、歩行者にとっても運転者にとっても厳しい。事務局案では、新久小学校を統合し廃止する案となっているが、例えば、地区体育館がある土地に小学校を移転させ、小学校、中学校を隣同士にする方法かどうか。そして、新久小学校のある場所は、地区センターとして活用し、東金子小学校は、地区体育館とするなど、複数の施設を移転（トレード）する方法はどうか。 ・小学校については、児童数が少なくなっても、統合しないで存続するという考えはないのか。 →児童数が減っていることは事実である。地方に存在する「分校」の考え方が適用できるかは不明である。 ・武蔵中学校の建替えは、よく考えられている。施設を整備する際は、効率的に実施して欲しい。 ・学校は、通学距離の問題もあるが、統合の際は、通学路の見直しや防犯対策が必要である。 →安全・安心が損なわれないように整備していきたい。 ・地区体育館については、他所の地域からきていることなど課題もあるが、東金子地区は、学校と学童保育室の統廃合が主なテーマだと思うので、これに集中して議論しても良いのではないかと。なお、地区センターについては、現在の施設に殆どの機能が集約されており、余り心配はしていない。 ・新久小学校を廃止した場合、その後何もしないということか。 →建物自体の活用をまず考える。一方、校舎で使いにくい場合は、建物を除却して、新たな施設用地にするなど活用を検討する。 ・施設を廃止する前に活用方法を考えておかないと効率が悪いのではないかと。	

- ・保育所を利用する場合、職場の近くにないと利用しづらい。特に、公立保育所の開所時間が短いので、もう少し遅くまで預けられると助かる。
- ・新久小学校を廃止して誰も使わないと、1～2年で、校庭には草が繁茂し、教室の梁にはホコリが溜まって、避難所としても直ちに使えなくなる。
- ・市役所の耐震化の説明を聞いたが、市役所もスリム化すべきではないか。
- ・市民会館・中央公民館の耐震化の説明を聞いたが、産業文化センターにホールがあるため、新たなホールは必要ないのではないか。

第4回地区懇談会（東金子地区）の概要	
日 時	平成29年10月13日（金）午後7時～午後9時
場 所	東金子公民館
出席委員	石井昭雄委員 石津壽喜委員 金子勉委員 黒米恒夫委員 寺本和夫委員 寺本達委員 徳山好永委員 服部豪委員 古屋初子委員 星野ふみ子委員 吉野勝委員
欠席委員	なし
傍聴者	2名
○委員意見 ・地区センター化にあたっては、ぜひソフト面の見直しも行って欲しい。 ・公民館の貸出条件を見直し、企業などでも利用できるようにしてはどうか。 ・地区センターに備える機能はどのようなものを考えているか確認したい。 →公民館機能、支所機能、自治振興機能、福祉相談窓口機能、包括支援センターの機能などを想定している。 ・施設を改修する際は、設備の改善も望めるのか。こうした内容で意見交換ができる場があれば良いと考える。 →公民館の整備を検討していく中で対応を考えて行く必要があると捉えている。 ・公民館の稼働率を向上させるためには、予約の方法や貸出の手続きを考える必要がある。使いたい部屋や時間帯が重なっているため利用をあきらめてしまっている場合があるので、上手に調整をする工夫が必要だと考える。 ・地区センター化を検討するなかで、必ず公民館という形を取らなければならないのか。補助金の兼ね合いなどの理由があるのか。 →公民館のあり方は検討課題の一つである。 ・学校区の見直しについて、学区の境目付近に住んでいる人は学区を選べるようにする工夫はいかがか。 ・少人数学級のように子どもを手厚く指導してもらいようなことについても考えることが必要ではないか。 ・学校のことを検討する上で、通学路の問題は大きい要素である。PTAからは意見を受けていないのか。市役所の建替えがあると聞いたが、他にも古い施設があるので、もっと広い視野で全ての施設のことを検討していく必要がある。 →学校の統合については、小学校と中学校を隣接して配置するなどの提案をいただいている。通学距離のことなども踏まえて配置については良く検討する必要があると考えている。 ・保育所は子どもが減ったら統合を進めるのか。 →社会情勢や民間保育園との役割分担を見据えながら、将来は6地区に一つずつ配置をしていくことを考えている。	

- ・保育所は送迎の利便性を考えると車で行きやすい場所が良い。
 - ・現在の東金子保育所は新久小学校の近くにあることが利点の一つだと考える。
 - ・保育所は保護者が必ず送迎をしなければならないので利便性の向上が必要である。
 - ・保育料は公立と民間で同じなのか。保育所を競争させることはできないのか。
- 保育料の負担額は公立も民間も同じである。施設の性格上競争ということは難しいと考える。
- ・幼稚園と保育所を一緒にはできないのか。子ども園化を検討してはいいかがか。
 - ・小さいころから地域への愛着が身につくように、子どもを育む工夫が必要と考える。
 - ・市が示している「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の計画のように、保育所の利用者の仕事をフォローアップしていくような仕組みを作ることが必要である。
 - ・東金子地区は交通の便が悪いが、魅力的な施設があれば人が集まってくる。この地区だけというわけにはいかないだろうが、東金子地区に魅力ある施設を整備して欲しいと願っている。
 - ・今後人口は減少傾向にあるとのことだが、高齢人口は増加する。老人憩いの家はそれ程維持管理費を必要としないと思う。高齢者には使いやすい施設であり、身近に出かけやすい場所があることが望ましいと考えているので良く検討してほしい。
 - ・高齢者が増加することに対し、老人憩いの家を良く整備して行こうという考えはないのか。良く使われているところはより良い状態にしていくような案があっても良いのではないのか。
 - ・公民館の利用者は高齢者の割合が高い。老人憩いの家については、公民館のあり方と一緒に考えても良いのではないのか。
- 公民館に高齢者や子どもたちも含めて様々な方が集えるような場所として行きたいと考えている。学校を複合化して地域の方の交流スペースを設けることを検討しているのも同じ考えである。
- ・ていーろーどを使っているが、年間で多額の赤字となっていると聞いている。現在無料としている方からも100円程度の運賃をいただくことは無理なのか。
- 公共交通の再編の中で検討していきたいと考える。
- ・市役所の建替えと地区センター化のつながりの面で考えると、今後の市役所はあまり大きな施設としてなくても良いと考える。構造も鉄筋コンクリート造にこだわらず鉄骨造や木造などの方法を検討しても良いのではないのか。
- 施設の規模や構造については、よく検討をしていくこととしている。
- ・市民会館の再整備案は700席程度となると聞いたが、周辺の自治体では1,000席程度としている例が多いように思う。体育館を多目的に使えるようにしている自治体の例もある。入間市には武蔵野音楽大学のホールもある。様々な視点で考えて行くことが必要である。
 - ・地区センター化を検討する中で、業務の分散化を考えるのと合わせ、土曜日や日曜

日にも開庁することも検討しているのか。人員を増やさない方向でサービスを効率よく提供していく方法についても検討してもらいたい。

- ・区長会で活動していると、市からの配布物かとても多いと感じる。IT化やペーパーレス化を進めて行くことも考えてほしい。

→本年度から情報政策課を創設し、情報の活用や提供のあり方について検討している。